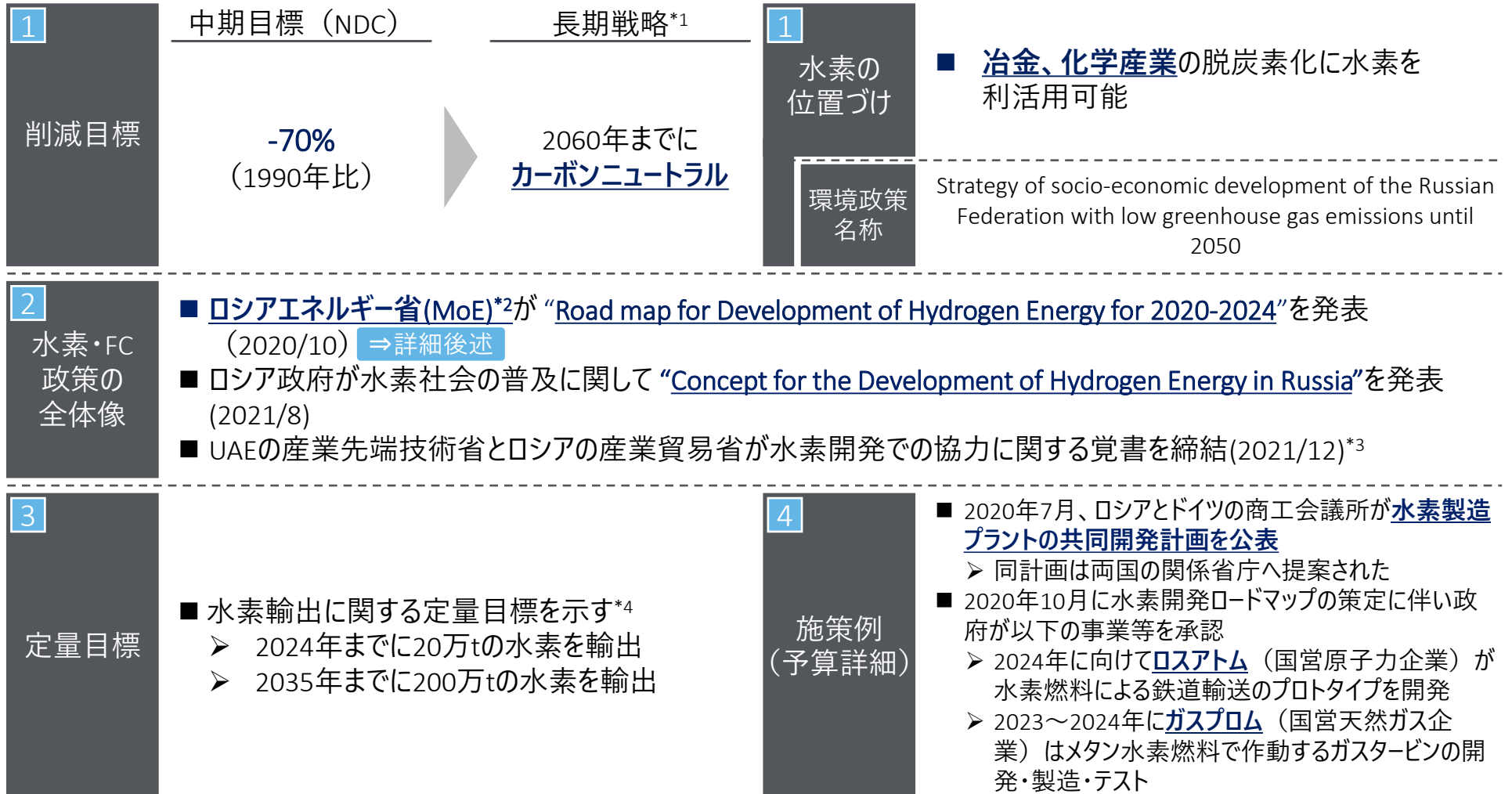




【国・地域別サマリー－ロシア】

長期CO2削減目標を公約していないが、独自に水素製造等の開発を計画中である




出典：*1：Russian Federation “Strategy of socio-economic development of the Russian Federation with low greenhouse gas emissions until 2050” (2022/5) *2：Ministry of Energy of the Russian Federation *3：IEA “UAE and Russia agreement to collaborate on hydrogen development” (2022/2)*4：日経アジア “Russia plans to export hydrogen to Asia in green shift” (2020/11)



<参考：水素・FC政策の全体像詳細>

ロシアが2020年10月に水素エネルギー開発に関する計画書を公表し、水素に関する取組を開始した

名称	水素エネルギー開発行動計画 (Roadmap for Development of Hydrogen Energy for 2020-2024)		
策定主体	ロシアエネルギー省(Ministry of Energy of the Russian Federation)		
策定時期	2020年10月		
背景	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロシアのエネルギー戦略（2020年～2035年）に初めて水素エネルギーを位置づけた 		
施策例	<ul style="list-style-type: none"> ① 水素開発構想の立案（～2021） ② 水素製造・利用（産業部門、運輸部門、エネルギー部門）・輸出へのインセンティブ創出（～2021） ③ 水素産業創出に資する重要プロジェクトの特定（～2021） ④ 政府支援の実証事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ■ カーボンフリー水素製造プラント（～2024） ■ 低炭素水素製造プラント（～2023） ■ メタン＋水素の混焼タービン（～2024） ■ 水素燃料を利用する鉄道（～2024） ■ 原子力発電所における水素製造（～2023） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 国内の水素関連技術への開発支援（2021～2024） <ul style="list-style-type: none"> ■ 低炭素水素認証制度の検討 等 ⑥ 水素エネルギーの法的枠組みの整備（水素発電、貯蔵、輸送、利用、安全、標準化、インセンティブ） ⑦ 人材開発 ⑧ 水素資源開発に関する国際協力（ドイツ、日本、デンマーク、イタリア、オーストラリア、オランダ、韓国 等） 	

出典：Ministry of Energy of the Russian Federation “Roadmap for Development of Hydrogen Energy for 2020-2024”（2020/10）